

岡崎市歴史的風致維持向上計画【第1期】の最終評価(振り返り)と【第2期】の策定について

1 趣旨、目的及び背景

「岡崎市歴史的風致維持向上計画【第1期】」が、平成28年度(2016)に国から認定を受けて10年が経過し、計画期間が終了しようとする今、その振り返りを行い、第2期計画策定の要点などを以下に示します。

2 第1期計画(平成28年(2016)5月認定)の最終評価(振り返り)

(1)歴史的風致維持向上計画の目的

歴史的風致維持向上計画は、地域の歴史や伝統を反映した建造物や市街地の環境(歴史的風致)を維持・向上させることを目的とした計画です。具体的には、歴史的建造物の保存・活用、周辺環境の整備、伝統的な活動の支援などを行い、地域の魅力を一層高めていくことを目指すものです。

■歴史的風致とは

地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境のこと。

■重点区域とは

歴史的風致が存在する地域のうち、特に歴史的風致を構成する文化財や人々の活動の維持・発展に寄与する施策を一体的に推進する必要がある区域のこと。

(2)第1期計画の概要

項目	内容	
計画期間	平成28年度(2016)～令和7年度(2025)【10年間】	
基本方針	基本理念	未来へつむぐ歴史まちづくり
	行動目標と歴史まちづくりの視点	<ul style="list-style-type: none">● 気づく(しる)● 共有する(つたえる、つなぐ)● 行動する(まもる、いかす、つくる)● 参加する(かかわる) <p>歴史まちづくりの取組みに対して、市民等に参加の場や機会を提供し、公民連携によって持続可能なまちづくりを進めます。</p>
歴史的風致	<p>1. 家康公生誕の地にみる歴史的風致 2. 東海道を舞台にした信仰・祭礼等にみる歴史的風致 3. 滝山寺鬼祭りにみる歴史的風致 4. 岡崎城下の三大祭りにみる歴史的風致 5. 郷土食の八丁味噌作りにみる歴史的風致 6. 六ツ美地区の稻作儀礼にみる歴史的風致 7. 額田地区の山里のくらしにみる歴史的風致</p>	
重点区域	<p>1. 岡崎城下及び東海道地区【約780ha】 2. 滝山寺地区【約64ha】</p>	
事業	<p>1. 歴史文化資産の調査研究と普及啓発の推進に関する事業(4事業) 2. 歴史や伝統を反映した活動の継承への支援に関する事業(2事業) 3. 歴史的建造物の保存・活用の推進に関する事業(4事業) 4. 歴史的建造物の周辺等における良好な市街地景観の形成に関する事業(4事業) 5. 歴史文化資産を活かした地域活性化や観光振興の展開に関する事業(2事業)</p>	

(3)実施機関の考え方(第1期計画(10年間)の成果)

国から認定を受けた平成28年度(2016)より、第1期計画に基づいて、歴史的建造物の保存・修景、城郭遺構の発掘調査、歴史文化資産の案内板整備など、多角的な取組みを進めてきました。なかでも、岡崎城跡における発掘・文献調査の推進、富田家住宅の改修・活用、「徳川家康公像」の設置といった具体的な取組みを通じて、市民の郷土愛や歴史文化への理解・認知を高め、歴史的風致に対する市民の意識醸成や地域のシンボル性の向上に寄与する成果を上げました。

しかし一方で、歴史的建造物のさらなる利活用の促進、市民参加による持続可能なまちづくりの推進、多言語化やICTを活用した発信力の強化といった課題も顕在化しました。特に、市民参加に関しては、市民アンケート調査の結果(平成26年度(2014)と令和3年度(2021)の比較)からも、その意欲の高まりが見られます。また、昨今のインバウンド需要への対応も急務となっており、観光施策との連携が求められています。

3 第2期計画の策定

岡崎市では、第1期計画の成果と課題を踏まえた歴史まちづくりを今後も推進し、地域の魅力を一層高めていくため、「岡崎市歴史的風致維持向上計画【第2期】」を策定します。

(1)実施機関の考え方(第2期計画策定(更新)の要点)

第2期計画では、第1期計画の基本理念を踏襲しつつ、課題となった「市民参加」や「観光施策との連携」などに関わる行動目標と視点を加えた更新を行います。「歴史的風致」と「重点区域」の変更はありません。

項目	内容(更新・追加箇所は赤字波下線部分)	
計画期間	令和8年度(2026)～令和17年度(2035)【10年間】	
基本方針	基本理念	未来へつむぐ歴史まちづくり
	行動目標と歴史まちづくりの視点	<ul style="list-style-type: none">● 気づく(しる)● 共有する(つたえる、つなぐ)● 行動する(まもる、いかす、つくる)● 参加する(かかわる) <p>歴史まちづくりの取組みに対して、市民等に参加の場や機会を提供し、公民連携によって持続可能なまちづくりを進めます。</p>

(2)第2期計画策定(更新)のコンセプト

第2期計画は、第1期計画で効果の見られた取組みを継承しながら、「歴史まちづくりへの参加機会の提供」や「先端技術の活用」等の新たな視点を取り入れるとともに、「歴史文化資産を活かした観光振興」を中心に取り組むものとします。

●歴史まちづくりへの参加機会の提供

第1期計画で取り組んだ調査研究の成果等をまとめ、SNS等を用いて分かりやすく発信、情報提供することにより、歴史的風致や歴史まちづくりへの理解度や認知度のさらなる向上を図ります。

また、歴史まちづくりに対して積極的な参加を望む市民等の参加機会の提供を図り、公民連携による持続可能な地域づくりを進めます。

●歴史文化資産を活かした観光振興

民間企業との連携や先端技術の導入等により、歴史的建造物等の活用を促進し、さらに観光施策と連携することで、歴史的風致の維持向上を目指します。

(3)第2期計画策定(更新)に伴う主な事業(下表の事業番号は、左表中の「事業」の番号に符号しています)

事業	内容	
1. 歴史文化資産の調査研究と普及啓発		調査結果の公表・活用や歴史まちづくりへの参加機会の提供(シンポジウム等)により、歴史的風致に関する市民や来訪者の理解度と満足度の向上を図ります。
3. 歴史的建造物等の保存・活用		歴史的建造物の修復・修景への支援を継続しながら、先端技術等を取り入れた新たな活用方法を検討、実施することにより、インバウンドにも対応した歴史観光を推進します。
4. 良好的な市街地景観の形成		重点区域において、無電柱化や道路美化等に取り組むほか、『岡崎市景観計画』に基づく、景観形成重点地区制度等を利用して歴史的景観の保全を進め、観光振興を図ります。

(4)今後のスケジュール

